

組織、人事・賃金制度改悪一乗務手当廃止反対！ 強制配転するな！ 融合化、ワンマン化反対！ ローカル線切り捨てやめろ！

機能保全外注化強行弾劾！ 4・1ストにたった動労千葉組合員の 京葉車両センター前でのアピール

動労千葉は4月1日、26反戦春闘・3月ダイ改阻止の第3波闘争としてストにたちました。京葉車両センター前行動での発言を紹介します。

○渡辺書記長

本日、京葉車両センターの機能保全外注化に反対して集まっています。JRは2000年以降、い



ろんな鉄道業務を外注化してきました。我々は一貫し

て、鉄道業務の外注化に対して反対の声を上げ続けてきました。昨今本日にJR東日本で事故が続発しています。この1つの原因に外注化があると断言できます。

仕業・構内業務も12年に外注化され、機能保全業務も京葉車両センターの武蔵野線運用の車両が外注化されます。断じて許すことは出来ません。外注化よりも直営化だと改めて訴えたい。

CTSで働くプロパー社員の皆さんも、本来ならJRで雇われるべき存在です。低賃金、労働条件が悪い中で働かされています。本

来、あなた方はJRで雇われるべき存在なんです。外注化ではなく直営化、プロパー社員もJRで雇用され、鉄道業務を担っていくというのをまず訴えたい。

上からこつそり見てる人も、見物しているんじゃないかと我々の声を聞いてくれ。

本日から新しい人事・賃金制度、セカンドキャリアスタッフ制度が4月から開始されます。外注化がなければ、JR東として定年延長していれば、こんな問題は起きないということなんです。外注化の目的がJR東、CTSの管理者のポスト作りであることは本当に明らかだと訴えたい。

2月10日に喜勢社長が記者会見を行いました。その前段で、経営幹部の会議があつて、そこで外注化のスキームは破綻していると。どの面を上げて言っているんだというのを改めて声をあげたいと思います。JRで多く採用して、出向させてグループ会社を回すって言うてますが、そうじゃないだろうと。

本日、機能保全業務が外注化さ

れるわけですけども、われわれはこの外注化の撤回をこれからも訴え続け、闘い続けなければならぬと思います。今日のストライキを貫徹していきたいと思えます。

○幕張支部・北嶋支部長

京葉車両センターで働く仲間の皆さん、今こそ決起する時です。このままでは仕事はおろか職場も奪われてしまいますよ。みんな



声あげれば変えられるんです。止められるんです。

なんで失敗だった外注化を進めると思えますか？ 責任逃れなんです。社長は責任逃れしてるんです。グループ会社に全部責任を押し付けて、自分たちはもう鉄道を捨てるって言うてるんです。許せるはずがないでしょう、こんなこと。みんなで声あげましょうよ。

仲間の皆さん、俺たちはいつでも迎える体制です。いつでも来てください。一緒に闘いましょう。